ガイダンス基礎力の養成

資料1

時間	■テーマ	内容
■共通領域 9:30～11:00 （90分）	**大学におけるキャリア教育とは（共通）**	（1）日本の大学・大学生についての理解（20分） ・大学教育の状況 ・現代「若者」の考え方・価値観・行動特性などの理解と支援 （2）キャリア形成支援とキャリア教育の理解（20分） ・大学におけるキャリア教育の実施 ・大学におけるキャリア教育の方向性と課題 （3）大学生の就職状況と支援方法（20分） ・ 厳しい就職状況の要因分析 ・就職活動に対する支援制度の理解 （4）学生との面談スキル（20分） ・キャリア・コンサルティングの基本的スキルー傾聴（関係構築）の実施 （5） モジュール全体説明（10分）
■モジュール1 11:10～12:40 （90分）	**職業適性・職業興味**	（1）VRTカードの紹介（職業興味をはかる、ガイダンスツールのとして）（10分） 意義と活用方法について （2） 他のアセスメントの紹介（適性検査の一覧表）（10分） （3）ホランドの理論の理解と確認（15分） （4）ツールの使い方について（10分） （5） グループ・ワーク(発表を含め（40分） （6） 午前中のまとめ（5分）
12:40～13：40 （60分）	**昼休み**	
■モジュール3 13:40～15:10 （90分）	**職業理解** **（職業の中の仕事を探す）**	（1）「課題」の説明（10分） （2）ワーク（60分） ・作業1－職業を選ぶ（個人ワーク） ・作業2－職業に含まれる課題の選択（個人ワーク） ・作業3－選んだ課題の発表（グループワーク） ・作業4－課題についての自己分析・評価(個人ワーク） ・作業5－分析結果のまとめ（グループワーク） （3） グループごとの発表（20分）
■モジュール5 15::20～16:50 （90分） 17:00	**キャリア教育のガイダンスのプログラム作成** **総括**	（1）ガイダンスプログラム作成の趣旨説明（10分） （2）テーマ案作成（個人作業）（20分） （3） グループでディスカッション（グループワーク）（30分） （4） 全体発表（20分） （5）本日の振り返り （10分） 明日からのキャリア教育・自己業務への取組みについて

キャリア教育の実践

時間	■テーマ	内容
■共通領域 9:30～11:00 （90分）	**大学におけるキャリア教育とは（共通）**	（1）日本の大学・大学生についての理解（20分） ・大学教育の状況 ・現代「若者」の考え方・価値観・行動特性などの理解と支援 （2）キャリア形成支援とキャリア教育の理解（20分） ・大学におけるキャリア教育の実施 ・大学におけるキャリア教育の方向性と課題 （3）大学生の就職状況と支援方法（20分） ・ 厳しい就職状況の要因分析 ・就職活動に対する支援制度の理解 （4）学生との面談スキル（20分） ・キャリア・コンサルティングの基本的スキル―傾聴（関係構築）の実施 （5） モジュール全体説明（10分）
■モジュール2 11:20～12:50 （90分）	**面談技法** **「学生相談ロールプレイ」**	（1）趣旨とやり方の説明（10分） （2）ロールプレイ実施（70分） 3人1組になり、クライエント・コンサルタント・観察者役を各自1回担当する。 ・クライエント役は、訴えたいことと人物像を明確にすること。 ・コンサルタント役は、学生が訴えたい問題とキャリア・コンサルタントの立場からの問題の両方を把握すること。 ・観察者役もコンサルタントであればどのように対応するかを考えること。 面談実施後に、相互にフィードバックを行い内容を確認する。 （3） 午前中のまとめ(10分）
12:40～13：40 （60分）	昼休み	
■モジュール4 13:40～15:10 （90分）	**労働法の理解** **「法律相談所」**	（1）労働法の基礎知識の必要性とやり方の説明（10分） （2）ケースについての考察（個人作業）（15分） （3）グループ内でのデスカッション（20分） （4）グループごとに全体発表（35分） （5）まとめ（10分）
■モジュール6 15::20～16:50 （90分） 17:00	**大学教育の理解** **「キャリア教育授業カリキュラム作成」** **総括**	（1）キャリア教育授業カリキュラムを作成する趣旨とやり方の説明（10分） （2）グリープによるカリキュラム作成（40分） ・ 2人一組になり学年ごとのカリキュラムを作成 ・ グールとして4年制までの全体カリキュラムを作成 （3） グールごとの全体発表（30分） （4）本日の振り返り （10分） 明日からのキャリア教育・自己業務への取組みについて